

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.12.25・2011.1.5 No. 94 連絡先 FAX 042-555-1911



首相訪沖 菅首相「辺野古がベター」、仲井真知事「勘違いしている」



普天間基地を名護市辺野古に移設するとして「日米合意」を押しつけるために沖縄を訪れた菅直人首相は、12月17日、仲井真知事と会談しました。菅首相は「辺野古がベター」と述べましたが、仲井真弘多知事は「勘違いしている」と応じ、地元の沖縄タイムスは「認識の相違鮮明」と伝えています。

12月18日、菅首相は自衛隊の大型輸送ヘリコプターに乗って上空から普天間基地や辺野古を視察しました。キャンプシュワブに隣接する辺野古の浜辺では住民たちが、全国から寄せられた寄せ書きの布で大きく「NO BASE」とメッセージを描き、子どもたちは空き缶で「NO BASE」と書き、上空から視察する菅首相に「移設反対」を訴えました。(辺野古にて 写真提供：大西照雄氏)



「訪問し、説得すべきは米国だ」と共産党の市田氏

18日、訪問先の沖縄で記者団から菅首相の沖縄訪問について問われた日本共産党の市田忠義書記局長は「首相は来る所が間違っている。訪問し、説得すべきは米国だ」と述べ、沖縄に基地を押しつける首相の態度を厳しく批判しました。また菅首相が、普天間基地を辺野古に「移設」すれば「危険性が相当、削減される」と述べたことについて、「人間の命の重みに変わりはない。沖縄の人々の気持ちをまったく理解しない発言だ」と批判。菅首相が基地押しつけの“見返り”に「一括交付金」増額など「経済振興」を上げたことについても「札束で頬をたたくやり方は一国の総理としてあるまじきやり方だ。お金を出すから基地を受け入れろというのは、県民の感情を逆撫でするだけだ」と述べました。本当にそうですね。総理失格です。

◆ 沖縄を訪れた前原誠司外相は21日、仲井真知事との会談後記者会見し、米軍普天間基地周辺での危険性除去について「小学校や病院など具体的な施設の移動について知事に要望してほしいとお願いした」と述べました。危険な基地そのままに、住民にどけと言うのでしょうか！

◆ 沖縄防衛局は22日早朝、米軍新ヘリパッド建設をねらっている沖縄県北部・高江で、100人以上の作業員を動員してゲートへのフェンス設置を強行しました。ひどい暴挙です。日本平和委員会と沖縄県平和委員会は、抗議声明を発表し、防衛省と沖縄防衛局に送付しました。

12月17日に閣議決定された「中期防衛力整備計画（平成23年度～平成27年度）」に

「横田基地を新設し、航空総隊司令部等を移転する」と明記

「航空自衛隊航空総隊司令部及び関連部隊は、2010年度に横田飛行場に移転する。」と2006年5月1日の日米安全保障協議委員会の共同発表に書かれています。しかし、これまで、福生市議会のやりとりを聞いても、住民が北関東防衛局に行き質問しても、航空総隊司令部及び関連部隊の詳細や隊員の人数、544億円で建設された新施設の内容も明らかにされていません。

ところが突然、横田防衛事務所（福生に所在）の所長が、「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画（平成23年度～平成27年度）」の説明をするために、周辺自治体を訪問したそうです。「横田基地の新設」とは？ 大事なことが国民に知らされないまま進行しています。

(抜粋) 中期防衛力整備計画 (平成 23 年度～平成 27 年度)

II 基幹部隊の見直し等

- 3 航空自衛隊については、南西地域における即応態勢を充実するため、那覇基地に戦闘機部隊 1 個飛行隊を移動させ、2 個飛行隊とする改編を行うとともに、1 個航空団を新設し、これに伴い既存の 1 個航空団を廃止する。また、米軍とのインターオペラビリティを向上するため、横田基地を新設し、航空総隊司令部等に移転する。

* インターオペラビリティ【interoperability】 軍隊どうしの相互連携能力。複数国軍の連合作戦で兵器装備から指揮訓練まである程度統一しておくことによって、相互の連携・運用を可能にする能力。

経緯及び状況

12月21日(火) 横田防衛事務所長が、平成 22 年 12 月 17 日に閣議決定された「平成 23 年度以降に係る防衛計画大綱」及び「中期防衛力整備計画 (平成 23 年度～平成 27 年度)」の説明のため来訪する。

説明の中で、中期防衛力整備計画の II の 3 航空自衛隊に関する部分に、「米軍とのインターオペラビリティを向上するため、横田基地を新設し、航空総隊司令部等に移転する。」という記載があり、このことについて市長は、今回初めて示された「横田基地を新設し」という表現に対し、どのような意味で使われたのか、新たな基地機能の強化につながるのではないかと懸念を示し、また、閣議決定前になぜ地元自治体に説明がなかったかということについて説明を求める。

その際、所長からは、「今まで説明してきた航空総隊司令部の移駐というスタンスと変わるものではない」との説明をうけるが、その説明や地元軽視の国のやり方に憤慨した市長は、途中退席する。

所長には、後日責任ある立場の方から説明をしてもらうこととした。

12月22日(水) 北関東防衛局長、防衛計画大綱説明のため、防衛省防衛政策局防衛計画課業務計画第 3 班長を伴い来訪する。北関東防衛局長からは、「横田基地を新設し」は呼び方の問題であり、移駐という今までの内容と変わるものではなく、事前に説明しなかったことに対しては不手際と認め、申し訳なかった旨の説明を受けた。これに対し、市長は、単なる呼称上の問題という説明ではとうてい納得できるものではない。国は基地の安定的使用について地元自治体の苦労をわかっていない。不手際のお詫びですむ問題ではなく、議会に対しても国の説明として報告できる内容でない等を伝えるとともに、閣議決定の前に事前説明がなかったことに対して、強く抗議するとともに、最低限、今後新たな航空機の移駐など基地機能の強化がなされないよう、文書で回答をいただきたい旨を申し入れた。

局長からは、この場で即答は出来ないが、今日の内容を本省に伝え、しかるべく文書で回答すると確約をいただく。(なお、今後新たな情報があり次第、議会にも改めてご報告しますが、とりあえず現在の状況をご報告させていただきます。福生市基地渉外担当) —以上の情報は奥富喜一福生市議より提供—

柴田トミさん (99歳) の 詩集「くじけないで」に出会う



本屋さんの前を通ったら、「くじけないで」という本が平積みされている。手に取ってパラパラとめくってみると、「先生に」という詩が。

私を おばあちゃん と 呼ばないで

「今日は何曜日？」 「9+9は幾つ？」

そんな バカな質問も しないでほしい

「柴田さん 西條八十の詩は 好きですか？」

小泉内閣を どう思いますか？」 こんな質問なら うれしいわ

いいですね。思わず笑みがこぼれます。今年 3 月に発売されて以来、約 75 万部を突破したそうです。